

侵入生物データベース > 日本の外来生物 > 哺乳類 > クリハラリス

## クリハラリス

基本・侵入情報

参考資料リスト

基本情報	
和名	クリハラリス, タイワンリス
分類群	哺乳綱 齧歯目(ネズミ目) リス科 (Sciuridae, Rodentia, Mammalia)
学名	<i>Callosciurus erythraeus</i> subsp.
英名等	Formosan squirrel
自然分布	台湾, 大陸中国南部~インドシナ・マレー半島~インド北東部.
形態	雄成獣で頭胴長20~26cm, 尾長17~20cm, 体重300~440g前後になるリス。毛の色彩には地理的変異があるが, 国内に定着している個体群では, 背面は黒と黄土色毛が混じって生え, 腹面は栗色。染色体数 2n=40
生息環境	主に常緑広葉樹林。市街地・造林地でも生息可。 温度選好性: 本来の分布域が広く, さまざまな気候や植生に適応
繁殖生態	繁殖期: 通年繁殖可能。最大で年3回。 1頭の雌が7~8頭の雄と交尾する。産仔数: 1~3
生態的特性	樹上に営巣。昼行性で, 樹上で活動。よく鳴くことが特徴。 食性: 樹木の種子, 果実, 花, 葉等, アリ, セミ, カタツムリ, 野鳥の卵など動物質も少量食べる。冬季には樹皮を剥いで樹液を舐める。
クリックすると拡大画像が表示されます	
	
©郡 麻里	
侵入情報	
国内移入分布	神奈川県(南東部), 静岡県(伊豆半島東部, 浜松城公園), 岐阜県(金華山), 大阪府(大阪城公園), 兵庫県(姫路城公園), 和歌山県(和歌山城公園, 友ヶ島), 長崎県(壱岐, 福江島), 大分県(高島), 熊本県(宇土半島), 伊豆大島, 東京都(あきる野市), 埼玉県(入間市)
移入元	伊豆大島には台湾から, 江ノ島・友ヶ島には伊豆大島から, 大阪城公園には大陸中国から。DNA解析から, 伊豆半島・福江島のものも台湾由来のものが直接・間接的に導入されたと推定されている。一方, 浜松のものは大陸中国由来(近縁種との雑種の可能性あり)と推定されている。
侵入経路	故意の放逐または動物園から逸出
侵入年代	最初の逸出記録は, 1935年の伊豆大島。他の地域には, 江ノ島 1951年, 和歌山県友ヶ島 1954年, 岐阜県金華山 1955年, 大分県高島 1959年ごろ, 大阪城・姫路城・和歌山城・浜松城の各公園 1970年代, 伊豆半島・五島列島福江島・壱岐 1980年代。最近では, 熊本県宇土半島で2008年に, 東京都あきる野市・埼玉県入間市で2011年に, それぞれ確認されている。
影響	捕食, 樹皮剥離による樹木の枯死, 種子を未熟の内から樹上で捕食してしまう等。人家に対する破壊・侵入。電線嚙害等生活被害, 樹皮剥離なども引き起こす。また, 寄生虫の持ち込みも指摘されている。農業被害。森林地域へ分布拡大すると, 在来リス科(ニホンリスなど)と競合する可能性あり。 影響を受ける在来生物: リス科, 野鳥, 昆虫類, スダジイ, ヤブツバキなど主要な植生, 農作物など。
法的扱い	特定外来生物(外来生物法), 狩猟獣(鳥獣保護法)。
防除方法	箱ワナなどによる捕獲。神奈川県などで捕獲事業が行われている。
問題点等	
海外移入分布	アルゼンチン, フランス, ベルギー, イタリア, オランダ
	
※必ずしも色が塗られた地域全体に分布するわけではありません	
備考	
本種を除くハイガシラリス属 <i>Callosciurus</i> 全種は, 未判定外来生物。	

基本・侵入情報

参考資料リスト